



季節感

...正体みたり枯尾花！
幽霊になったり、
ミミズクになったり、
秋の七草の一つ。
ススキ
2006年11月2日
福岡市早良区西区金武
大塚 俊樹



熊洞居人独言

8

アムンゼンやスコット、白瀬轟、リチャード・バードなどの南極探検に感動し、極地探検にあこがれていた少年時代、クマは良く一人で自転車を漕いで多々良川東岸の丘陵地帯の雑木林の探検に出かけていた。この一帯は、現在は隙間無く家が立ち込み、立花山の山麓まで住宅で埋め尽くされた、福岡市でも有数の住宅街であるが、200年代までは畑や原野、雑木林が織りなす典型的な里山地帯であった。かすかな記憶を辿ってみると、樹高2〜3mのクヌギやコナラ、ハゼノキ等の落葉樹の中に、セイノキなどの照葉樹や竹類が混じるかなり密生した萌芽林であったように思える。ひどい藪をかき分けながら林内に分け入りさまよい歩いていたが、時には樹木を渡りながら移動する巨大なアオダイショウが目の前に出現して吃驚したこともあった。1950年代までの平地・丘陵部や山麓で、日常生活に利用されている雑木林は、大部分がこのような状況であった。また、茅場（ススキ草原）や牧場（牧草草原）、薪林（しんまつ）地、榛莽（しんぼう）地なども

広大な面積を占めていた。薪林地はススキやネザサの中に樹高1m前後の樹木が点在する原野、榛莽地は1〜2m程度の樹木が密生している景観を指している。そして、高さ（1.5m）以上に成長した雑木林は、森林に分類されていた。里山の存在が人々の生活に欠かせなかった時代、里（集落）近くの里山はこのような景観が展開していた。このような景観は、江戸時代初期には成立していたと思われる。明治時代後期の筑紫郡大野村（現・大野城市の記録）では、村の30%は原野（茅場・牧場・薪林地・榛莽地）であったと記載されている。現代の自然環境保全活動の主要なテーマの一つである「里山」を理解する上で、少なくとも古代末より50〜60年前まで続いてきた「里山」の姿を知ることが、基礎知識として重要なことである。



イベント情報

福岡市環境デー事業「エコッパ料理教室～エコクッキングでクリスマス」

主催 福岡市環境局
環境デー事業のひとつとして、エコクッキングを体験することにより、日常生活の中から環境の保全を考える「きっかけ」をつくるのがねらいです。
実施日：平成18年12月18日（月） 10：00～12：30
実施場所：西部ガス高宮ショールーム
集合場所 西部ガス高宮ショールーム（福岡市南区高宮5-3-12）
注意事項：西部ガス高宮ショールームに現地集合となります。
エプロン・三角巾（またはバンダナ）をご持参ください。
飲み物、筆記用具は各自で持参して下さい。
雨天決行

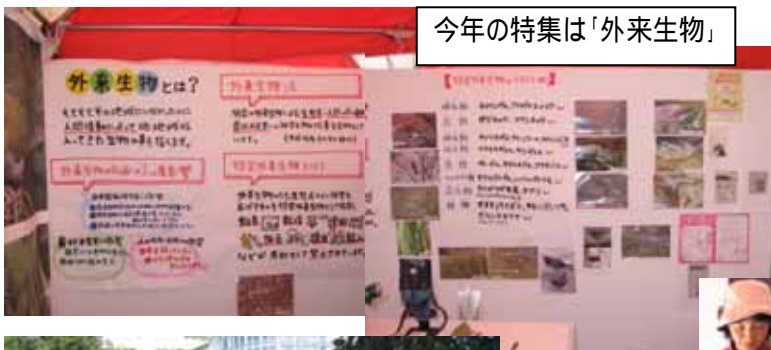
募集概要：市政だより11月15日号
募集人員：20名 参加費用：無料
対象者：福岡市内在住又は通勤・通学する人。
（市外からの通勤・通学者は応募時記載）
募集方法：はがき、FAX、E-mailにより受付
参加者全員の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号を明記のうえ応募
応募締切：平成18年12月4日（月）
（はがきは同日必着）応募者多数の場合は抽選し参加者を決定。

応募・問合せ先：福岡市環境局総務部環境啓発課 担当：定岡，渡邊
住所 〒810-8620（住所不要） TEL 733-5381 FAX 733-5592 E-mail k-keihatsu.EB@city.fukuoka.jp

今年もナイス福岡として大きく関わっている環境フェスティバルがやって来た。そしていつものように始まればあっという間の二日間が過ぎてしまった。今年も二日間とも天気に恵まれ来場者も平均して、途切れも無く盛況であった。今年も事前の準備に具体的に取掛かるのが遅くなり、仕事との板挟みでやきもきしたが、幕が上がると会員各位の協力で立派なブースが出来上がり、立派な運営が出来たと自負する...

環境フェスティバル全体のテーマは『続けよう私にできること、みんなにできること』で事前のチラシやポスターでも紹介されているが、2003年から「探してみよう...」「やってみよう...」「広げよう...」に続いての検討委員会の思いを込めたテーマで継続は力なりという気がします。

我がナイス福岡の基本テーマは3年前から変わらず『自然と遊ぼう！自然に学ぼう！』で参加の会員各位が率先して楽しく遊び、来場者を楽しい遊びに引入れ、遊びの楽しさの中から掛け替えのない自然の何かを感じ取ってもらったことと思います。それと今年のメインテーマは『外来生物について』を取り上げクイズラリーを切り口に、パネル展示に力をいれ写真や現物見本を添え迫力のあるものとして、見る人の注目を集め、熱の入った解説、説明が続けられた。例年の木の枝エンピツ、竹トンボ、木の名札作り、ドングリのヤジロペー、ドングリ笛、竹てっぽう、竹笛など作り、葉ガキ遊び、ネイチャーゲームに加えて草笛は2年振りにステージ演奏で来場者の耳目を集めた...この様にメインテーマを掲げたり年々充実し、参加会員各位のご協力のもと「立派な運営が出来たと自負する...」



今年の特集は「外来生物」



都会の真中でネイチャーゲーム



ブースの賑わい



草笛の演奏

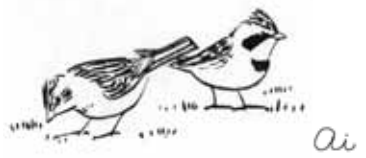
撮影：山本×2

ナイス福岡ホームページと掲示板のご案内...アドレスは、
<http://www.kurabird.com/>
 です。
 ここを開くと、「会報くすのき」のカラー原が見れます。
 また、「掲示板入口」をクリックすると、会員の皆さんのやり取りを読んだりメールのやり取りをしたりできますよ。
 ぜひご覧になってくださいね。


日本野鳥の会福岡支部 主催 参加費：100円（中学生以下無料）

11/19（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時間：9:00～12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：092-920-7112（山本勝）	11/25（土）12/23（土） 久末ダム探鳥会（福岡町） 時間：9:00～12:00 集合：久末ダム多目的広場横駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）	11/23（木・勤労感謝の日） 曲淵ダム（福岡市早良区） 時間：10:00～正午頃 集合：大谷口バス停前 問合せ：092-891-8396（長井節夫）
12/3（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時間：9:00～12:00 時間：9:00～12:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005（神園道男）	12/9（土） 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時間：9:00～12:00 集合：ボート乗り場前 092-573-1827（森健児）	12/10（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時間：9:00～12:00 集合：JR 和白駅前の公園 問合せ：092-681-4474（三宅僚）

日本野鳥の会筑後支部 主催 参加費：100円（中学生以下無料）URL: http://homepage3.nifty.com/nacs-j_tajima/

11/26（日） 濃施山公園探鳥会（高田町） 時間：9:00～ 集合：公園内すいせん橋 問合せ：0944-58-1672（野田）	12/3（日） 花立山（久留米市） 時間：10:00～13:00（弁当必要） 集合：城山公園駐車場 問合せ：090-4516-4467（木原）	
--	---	---

久留米の自然を守る会 主催

 田字草	11/26（日） 338回例会 キノコとせぜん探訪とキノコ鍋会 高良内コースから指揮の森など。 指導は金子周平先生（森林林業センター）	時間：9:30～15:00 集合：高良内幼稚園駐車場 参加費：200円 キノコ鍋も準備 共催：久留米市農林課 問合せ：0944-42-1942（金原優子）
---	---	---

和白干潟を守る会 主催

11/25（土） 守る会定例会議 時間：10:30～13:00 集合：和白干潟を守る会事務所 問合せ：092 606 5588（田中貞子）	11/25（土） クリーン作戦 と自然観察会 時間：15:00～17:00 集合：海の広場 駐車場なし 長靴・軍手があると便利 問合せ：092 661 1594（田辺）	11/19（日） 和白干潟まつり ラムサール条約登録をめざして 11:00～15:00 バードウォッチング、 干潟の生物観察、ネイチャーゲーム 他、模擬店など 問合せ：606 - 5588（田中） 606 - 6033（庄屋）
---	---	--

福岡植物友の会 主催

11/19（日） 筑前大島（宗像市） 海浜植物 ハマベノギク、ホソバワダン、	要予約 詳細は：092-947-6536 （大吉博子）
--	-----------------------------------

福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに 「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。	12/2（土） 親子森のクリスマスリースづくり 森の中でツルや木の実などを集め、リースづくりを楽しみます。 時間：10:00～15:00 対象：4歳～15歳の子供と保護者25人 申込み：往復はがき11/25必着 参加費：300円（材料費込み）
11/19（日） 秋色の油山・せぜん発見ハイキング 紅葉や木の実など、色とりどりの森を楽しく散策します。雨天実施 時間：10:00～13:00 参加費：100円 対象：一般・定員なし 申込み：不要 9:30から受付 持ち物：双眼鏡（貸出しあり）	問合せ：油山自然観察センター 〒811-1355 福岡市南区松原夫婦石 855-1 TEL：092-871-2112 開館9:00～16:30（月曜休館）



これは何だろうか
解かりますか？
十月号の答えは
マメ科シカクマメの若い
サヤ（若莢）の断面（田村
耕作氏提供）でした。

福岡市博多区的那珂小学校5年生と自然観察を実施しました。その経緯を報告します。

那珂小の校長先生から、背振少年自然の家で、1日自然観察会を担当して欲しいとの連絡が、田村宛にありました。学校に出向いての打ち合わせの結果、子ども達180名なので、10名の自然観察指導員の協力で実施することになりました。呼びかけに応じて、小野・松永・鶴田・山本夫妻・大塚・重松・西村・掛下それに田村の10名で対応することにしました。

観察の内容は、再び学校に、小野・掛下・田村の3人で出かけ打ち合わせをしました。那珂小の校区の自然と背振少年自然の家周辺の自然との違いを意識しつつ、五感を用いて案内できたらと思いました。背振少年自然の家の周辺、背振ダムの周辺、板谷地区などを10/12にほぼ1日かけて、観察しつつ歩きました。当日の安全対策、何を観察するか、どういう場所で実施するか、背振ダムのどこで観察するかなどを検討しました。ツタウルシもあちこちでみかけましたが、楽しいネタもいろいろ見つかりました。

観察会本番は、10/18の9時からお昼までは、施設の直ぐ近くの流れや森を中心に、生きものを観察し、午後は、背振ダムの堰堤下の草場でフィールドパターンというカードを利用して自然を楽しむ案内をしました。 あっという間の1日でした。子ども達や先生からも満足していただいたようでした。

御世話係り 田村耕作



撮影：重松

10名の案内人から小学校宛の報告がまとめられていますが、紙面の都合もあるので、ここには、子どもたちの声を中心に編集子が独断と偏見で採録、編集しました。ご了承ください。

(西村裕美)

午後は、草原の中で、自然の中にある様々な形に注目する『ネイチャーゲーム フィールドパターン』を振り返りも入れて1時間半程ゆっくり行った後、輪になって寝転がり、3人一組で俳句を作って貰いました。俳句は、最初の5文字・次の7文字・最後の5文字をそれぞれが担当し、相談せずにそれぞれが頭の中で考え、組み合わせて貰いました。できた俳句6つを紹介します。

- ・大空で 自然の中で ありがとう
- ・かゆかった 自然のささやき 虫の声
- ・青い空 虫たちの声 雲がない
- ・青い空 自然と触れて 楽しいな
- ・青い空 見上げていると 風がくる
- ・寝ころばり ちくちくするな 草の上



(鶴田義明)

近くにあったサンショウの葉の匂いを嗅ぎながら皆で味わったり、ケクロモジの感触を楽しみながら「わあ、いい匂い！」との声...、(毛ルーパーで確認)。アオキの葉書きやミズヒキのマジックなどに、早くも子どもたちのテンションは上がって目が輝き出す。バツヤやコオロギの仲間たちを見つけては、パネルや一覧性のある図鑑で同定する子どもたちの姿はとても楽しそうでした。お腹が痛いという子がいてゲンノショウコやセンブリを食べたりしたのもグッドタイミングでした。質問なども次々に飛び出して双方向性のコミュニケーションが充分取れて、時間の経つのが速く感じられ、あっという間に午前の部は終了。

午後からは「フィールドパターン」を中心に3人ひと組で自由に観察する。昆虫に詳しい子が何人もいて、「これキリギリスでしょう？」と持ってくる笑顔満面の男の子たち。「鶴ちゃん、これなあ～に？」と話しかけてくる女の子たち。5感をたっぷり使って楽しむ子どもたちに私自身感動の連続でした。

(小野仁) 子どもたちの感想

いろいろな生きものがいてよかった
生きものにであえて楽しかった
始めてみるものが多く楽しかった。学校でも見られる
といい
一緒に生きものが見られて楽しかった。
いろいろな木の実や生きものが見られてよかった
とにかく面白かった
生きものや木の実が見られてうれしかった
新しいものがたくさん見られてよかった
背振ならではのものが見られてよかった
山登りが楽しかった。自然のことがわかってよかった
ヘビトンボの幼虫なんかを見られてよかった
いろいろな体験できて面白かった
ヘビトンボの幼虫なんかを見られてよかった
自然のことがいろいろわかってよかった
ねころがって虫の声なんかを聞いたのがよかった
知らなかったことがわかってよかった
川でいろいろな生きものを見つけたのが楽しかった
知らない生きものをたくさん見られてよかた

(松永紀代子)

午前中にネムノキの所で、「豆の仲間は夜葉っぱが寝るよ」と話していたのですが、とても不思議がっていました。午後のフィールドで、日陰にあったカワラケツメイの葉がしっかりお休みモードに。「わー本当に寝ている」と子供たちが嬉しそうでした。

「さあ、みんな、寝転がるよ」というとビックリした様子の子供たち。誰もやったことがないようでした。葉がちくちくするとあまり乗り気ではない子もいましたが、「気持ちいい。このままでいたい」と言う子も。雲一つない青い空が広がりなんと良い気分。これから様々なことがあるだろう子供たちに、この青空を覚えていて欲しいと思いました。

(重松尚紀)

私たちの班は観察開始後しばらくして、子ども達の発見で偶然にもマムシ(幼蛇)を見ることができました。マムシは、スルスルと子ども達の足もとを抜け、あっという間に石垣の隙間に入ってしまいました。その後も、子ども達はイノシシの餌場で足跡を見つけ、その近くではイタチと思われるウンチも見つけました。

私はそのような場面で、『なぜ』そこに隠れたのか、足跡があるのか、ウンチがあるのかななどを、彼らに考えてもらい、関心をもってもらえるように問いかけながら進めました。

イタチと思われるウンチをよく見てもらった時には、子ども達は「スイカの種が入っとお！」と言っていました、「秋にスイカ?しかも、こんなところにあるかなあ?」とだけ答えて、解答は後のお楽しみにしました。午後には、落ちていたアケビの実を手に説明して、子ども達は種の正体を知ることとなりました。

(掛下尚一郎)

生徒たちの発見と一緒に喜び、たくさんの疑問にも答えることができた。担当したグループは学習意欲も遊ぶ意欲も高く、自然にもどンドン興味を示してくれた。自然の中で、楽しみ学んでもらえたという実感がある。

(山本勝)

午前のまとめの子どもたちの感想(一番の感動や面白かったことは?)

ツリフネソウの花、種、蜜 5人 サンショウの葉の香り 4人 木にぶら下ったトンボ 2人 樹々がぶつかり合う音 2人 水の音・風の音 1人(以下同じ) カゲロウの幼虫 スギヒラタケ ミズヒキの花の色 川の水の冷たさ

午後のまとめの子どもたちの感想「今日過ごしたここ背振の標高550m~600mの環境は、皆が住んでいる標高10m的那珂小付近の環境とどう違うと感じましたか?」

ここは車の排気ガスの臭いが無い。ここは空気が美味しい。ここは自然がいっぱいある。住んでる所は人工物が多い。ここは虫の種類も数も多い。ここは緑が多く自然がいっぱいある。住んでいるところはマンションが多く緑が少ない。ここは草や樹が多く山がある。

ここはヒトが少ない。ここは自然が多く、気持ちが良い。ここは自然が多く、山に樹がいっぱいある。

ここはバッタが多い。ここは山が近い。ここはヘビがいるが(道路で死んでいるヤマカガシの幼蛇を観た)棲んでいるところでは観たことが無い。ここはちょっと歩くだけでいるんな虫にあえる。ここは虫や鳥の音が聞こえる。住んでいる所は車がうるさい。ここは森や山がいっぱいある。ここはちょっと珍しい蛾の幼虫などがある。(ススキについていた尺取虫)

ここは山があつて、建物(マンション)がない。ここは建物も無く車も少ない。

(大塚俊樹)

時々するのだが一枚の葉っぱで音を出し、皆知っている曲を吹くと俄然、興味が集中する。チヂミザサの柔らかい葉で大半が音を出せるようになるが曲までは行かず、練習あるのみと教える。ヤマノイモの蔓を噛んでムカゴをかじってネバネバの味覚を体験し、ミツバアケビの実の色を眺めて、昔の子供達の遊びなど語り、午前中の観察会を終え、一人一人が一番、印象に残ったことを発表した。表現方法はそれぞれだが皆な心に何か収穫があった様に思えた...

(山本寿美子)【 】は子どもたちの体験・感想です。

歩き始めの川の傍の草が、朝露に濡れていたのので触ってみる。【冷たくて気持ち良い】 定点にて1分間、目をつむってみる。【風がひんやりしている。鳥の音が聞こえた。】 倒木・切り株を観てみる【苔や別の木が生えている】 枯葉の下を観てみる【小さな虫、アリ、キノコを見つける】 杉の木の根に【白いキノコがあちこちに出ている】 ハチヤチョウと味を共有しようとツリフネソウの距(きょ)の部分なめてみる【少しだが甘い。解からない】 お茶の伝来地の話があったというので茶の葉をかんでみる【いつも飲んでいるものとは違う感じ】 ハマクサギの葉をかいてみる【うっとな

るくらい臭い。好きな匂い。ゴマみたい】 サンショウの葉を自分たちで見つけてきた【いいにおい】

フイチゴの花が終わり実になりかけているのを自分たちで見つけた。葉をさわってみる【ざらざら、よく観ると毛がある】

ミズヒキの葉をさわる【少しざらざら】 クモの糸 自分たちで見つけた杉の木と木を繋いだ一筋の糸【ネバネバしていないのは何故?】

川では手を洗って【気持ちいい】 動物のフン 何を食べたか観てみる【気持ち悪いといいながらも興味】

頭より上の方の樹間に、50匹近くのクモが糸をはり団地状態【ウオ~】

足元の草の上のクモの巣に水滴がついてキラキラ【きれいなもの見つけた~と男の子】

センブリは胃薬として昔から使われていた(【葉を少しだけ噛んでみるとニガイ~】

バッタの追い込み漁を草が余り生えてない場所【虫が少ない】 草丈が40cmほどの場所【虫が多い】

(田村耕作)

最後に、振り返りとして、1人1人に印象に残ったことを発表してもらった。発表の順番は、子ども達の服装の色にこだわり、桃色系の色がたくさんついている服の子どもから順にお願いしました。協力していただいた先生も一緒に自然を楽しんでもらえたことがうれしかった。私のまとめは、生きものが食べる食べられる関係でいのちが繋がっていること、私達自身も祖先からのちを受け継ぎ、次の世代に引継ぐ大切な役割を持っていることを、この観察会の中で気付いてもらえたらなあと思いつつ、終了。

講習会無事終了！ご協力の皆様お疲れ様でした。

第390回の自然観察指導員講習会（福岡県）を夜須高原青少年自然の家にて、無事終了させることが出来ました。

参加者47名は、NACS-J講師3名、地元講師3名、運営協力者22名の協力で、有意義な講習を受けられたと思われました。同じ思いの輪が少し広がったと確信します。その成果として23名がナイス福岡に申し込んでいただきました。

今後、私達といっしょに活動していただけたと思います。

皆さんの協力に感謝しつつ、今後の継続的活動に、心新たにしています。

事務局 田村耕作

新しい仲間の誕生を、共に喜びましょう。



撮影：山本

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。
各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。
なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。
郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費：2000円

皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さんの情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(旬)クラブにて行っています。会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、**12月8日(金)**午後6時より事務局で行います。

12月号の原稿は、11/27(月)までに届くようにお願いします。

他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第67号 2006年11月1日
福岡県保健環境研究所 保環研ニュース第58号 2006.10

編集後記

：10/13定例発送会は、大塚俊樹・吉国正郎・藤川渡・重松尚紀・山本勝・石橋英明・西村裕美・田村耕作が参加。欠席の連絡は田中健二・冷川昌彦。

定例会のためにマテバシイの団子(MY)の差し入れがあり、感謝しつついただきました。

10月は小学校での観察会のお手伝いが二つありました。でも今月は講習会待たなし。

自然保護の仲間の輪を広げる機会でもあります。田字草



色いろばなし

の美しです。「ヨモリ」の種む洞窟の中で、明かりを消したとたん、それは漆黒の間。フィールドにあるような光を感じてきたら良いですね。本紙5頁の田村さんの感想で紹介できなかった部分に、草の中に腰を下ろし、光の指す方向でその風景の見え方が異なることを体験してもらった幸運に恵まれました。それは、そついつと天気に遭遇出来たお陰です。とありました。順光ではなんでもない、今午の原が逆光になったとたん、キラキラと輝くのです。景色の見せ方にもひと工夫ですね。

《本のむし》
資料は当紙124号で御紹介したものを使わせて頂いています。

今月は光のお話。秋を彩る紅葉やススキも光あればこそ

お問合せ：福岡県自然観察指導員連絡協議会（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）

代表：冷川昌彦 / 事務局長：大塚俊樹 / 編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子 / 会計：宮原俊彦

〒810-0061 福岡市中央区西公園 8-17 自然案内舎(旬)クラブ内 TEL & FAX：092-732-7042 URL：

<http://www.kurabird.com/> 掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>